

「健康日本 21」における目標値に対する暫定直近実績値等

平成 17 年 7 月 11 日

第 15 回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料

「健康日本21」における目標値に対する暫定直近実績値等

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年		
1 栄養・食生活	1.1 適正体重を維持している人の増加	児童・生徒の肥満児 10.7%	H9年国民栄養調査	7%以下	10.8%	H15年 国民健康・栄養調査		
		20歳代女性のやせの者 23.3%		15%以下	23.4%			
		20～60歳代男性の肥満者 24.3%		15%以下	29.5%			
		40～60歳代女性の肥満者 25.2%		20%以下	25.0%			
	1.2 脂肪エネルギー比率の減少	20～40歳代 27.1%/日		25%以下	26.5%/日			
	1.3 食塩摂取量の減少	成人 13.5g/日		10g未満	11.7g/日			
	1.4 野菜の摂取量の増加	成人 292g/日		350g以上	293g/日**			
		1.5 カルシウムに富む食品の摂取量の増加(成人)		牛乳・乳製品 107g/日	130g以上		97g/日**	
				豆類 76g/日	100g以上		62g/日**	
	緑黄色野菜 98g/日			120g以上	100g/日**			
	1.6 自分の適正体重を認識し、体重コントロールを実践する人の増加	男性(15歳以上) 62.6%		H10年国民栄養調査	90%以上		調査中	
		女性(15歳以上) 80.1%			90%以上		調査中	
	1.7 朝食を欠食する人の減少	中学、高校生 6.0%		H9年国民栄養調査	0%		8.7%	H15年 国民健康・栄養調査
		男性(20歳代) 32.9%			15%以下		29.5%	
男性(30歳代) 20.5%		15%以下	23.0%					
1.8 量、質ともに、きちんとした食事をする人の増加	(参考値)成人 56.3%	H8年国民栄養調査	70%以上	調査中				
1.9 外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加	成人 —		—	調査中				
1.10 自分の適正体重を維持することのできる食事を理解している人の増加	(参考値)自分にとって適切な食事内容・量を知っている人の割合		H8年国民栄養調査					
	成人男性 65.6%	80%以上		調査中				
	成人女性 73.0%	80%以上		調査中				
1.11 自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加	成人男性 55.6%	H8年国民栄養調査	80%以上	調査中				
	成人女性 67.7%		80%以上	調査中				

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年
1 栄養・食生活	1.12 ヘルシーメニューの提供の増加と利用の促進	提供数 (参考値) 飲食店、レストラン、食品売り場および職場(学校)の給食施設・食堂等のような場所で食品や料理の栄養成分表示を見たことがある人の割合 36.0%	H12年国民栄養調査	—	調査中	
		利用する人の割合 (参考値) 栄養成分表示を参考にしてメニューを選ぶ人の割合 12.8%		—	調査中	
	1.13 学習の場の増加と参加の促進	学習の場の数 (参考値) 地域や職場に、健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりがあると答えた人の割合 10.3%		—	調査中	
		学習に参加する人の割合 (参考値) 地域や職場における健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりに参加したことのある人の割合 23.2%		—	調査中	
	1.14 学習や活動の自主グループの増加	自主グループの数 (参考値) 地域や職場に、健康や栄養に関する学習や活動を行う自主的な集まりがあると答えた人の割合 10.3%		—	調査中	
	成人(20歳以上)					
2 身体活動・運動	2.1 意識的に運動を心がけている人の増加	男性 51.8%	H8年保健福祉動向調査	63%以上	54.2%*	H15年 国民健康・栄養調査
		女性 53.1%		63%以上	55.5%*	
	2.2 日常生活における歩数の増加	男性 8,202歩	H9年国民栄養調査	9,200歩以上	7,575歩	
		女性 7,282歩		8,300歩以上	6,821歩	
	2.3 運動習慣者の増加	男性 28.6%		39%以上	29.3%	
		女性 24.6%		35%以上	24.1%	
高齢者						
2.4 外出について積極的な態度をもつ人の増加	男性(60歳以上) 59.8%	H11年高齢者の日常生活に関する意識調査	70%以上	51.8%*		
			女性(60歳以上) 59.0%	70%以上	51.4%*	
			全体(80歳以上) 46.3%	56%以上	38.7%*	
	2.5 何らかの地域活動を実施している者の増加	男性(60歳以上) 48.3%	H10年高齢者の地域社会への参加に関する意識調査	58%以上	66.0%*	
		女性(60歳以上) 39.7%		50%以上	61.0%*	
	2.6 日常生活における歩数の増加	男性(70歳以上) 5,436歩	H9年国民栄養調査	6,700歩以上	4,915歩	
女性(70歳以上) 4,604歩		5,900歩以上		4,142歩		

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
3 休養 づくり の 健康	3.1	ストレスを感じた人の割合 54.6%	H8年度健康づくりに関する 意識調査	49%以下	62.2%*	H15年 国民健康・栄養調査	
	3.2	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合 23.1%		21%以下	19.9%*		
	3.3	睡眠の確保のために睡眠補助品やアルコールを使うことのある人の減少 14.1%		13%以下	17.6%*		
	3.4	自殺者の減少 全国数 31,755人	H10年人口動態統計	22,000人以下	32,109人	H15年 人口動態統計	
4 たばこ	喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 知っている人の割合		H10年度喫煙と健康問題に 関する実態調査			H15年 国民健康・栄養調査	
	4.1	肺がん		84.5%	100%		87.5%*
		喘息		59.9%	100%		63.4%*
		気管支炎		65.5%	100%		65.6%*
		心臓病		40.5%	100%		45.8%*
		脳卒中		35.1%	100%		43.6%*
		胃潰瘍		34.1%	100%		33.5%*
		妊娠に関連した異常		79.6%	100%		83.2%*
		歯周病		27.3%	100%		35.9%*
	4.2	未成年者の喫煙をなくす	喫煙している人の割合	H8年度未成年者の喫煙 行動に関する全国調査			
		男性(中学1年)	7.5%		0%	調査中	
		男性(高校3年)	36.9%		0%	調査中	
		女性(中学1年)	3.8%		0%	調査中	
		女性(高校3年)	15.6%	0%	調査中		
	4.3	公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及					
		分煙を実施している割合					
		公共の場	—		100%	調査中	
		職場	—		100%	調査中	
効果の高い分煙に関する知識の普及							
	知っている人の割合	—		100%	調査中		
4.4	禁煙支援プログラムの普及						
	禁煙支援プログラムが提供されている市町村の割合	—		100%	調査中		

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
5 アルコール	5.1 多量に飲酒する人の減少	多量に飲酒する人の割合					
		男性 4.1%	H8年度健康づくりに関する意識調査	3.2%以下	5.3%*	H15年 国民健康・栄養調査	
		女性 0.3%		0.2%以下	0.8%*		
	5.2 未成年者の飲酒をなくす	飲酒している人の割合					
		男性(中学3年) 25.4%	H8年度未成年者の飲酒行動に関する全国調査	0%	調査中		
		男性(高校3年) 51.5%		0%	調査中		
		女性(中学3年) 17.2%		0%	調査中		
	女性(高校3年) 35.9%	0%		調査中			
	5.3 「節度ある適度な飲酒」の知識の普及	知っている人の割合		H13年 国民栄養調査			H15年 国民健康・栄養調査
		男性 50.3%	100%		48.6%		
女性 47.3%		100%	49.7%				
幼児期のう蝕予防							
6.1	う歯のない幼児の増加	う歯のない幼児の割合(3歳) 全国平均 59.5%	H10年度 3歳児歯科健康診査結果	80%以上	68.7%	H15年度 3歳児歯科健康診査 結果	
6.2	フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の増加	受けたことのある幼児の割合 全国平均 39.6%	H5年歯科疾患実態調査	50%以上	調査中		
6.3	間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少	習慣のある幼児の割合 (参考値)全国平均 29.9%	H3年 久保田らによる調査	—	調査中		
学齢期のう蝕予防							
6.4	一人平均う歯数の減少	1人平均う歯数(12歳) 全国平均 2.9歯	H11年学校保健統計調査	1歯以下	1.9歯	H16年度 学校保健統計調査	
6.5	フッ化物配合歯磨剤の使用の増加	児童のフッ化物配合歯磨剤使用率 (参考値)全国平均 45.6%	H3年 荒川らによる調査	90%以上	調査中		
6.6	個別的な歯口清掃指導を受ける人の増加	過去1年間に受けたことのある人の割合 (参考値)全国平均 12.8%	H5年保健福祉動向調査	30%以上	調査中		
成人期の歯周病予防							
6.7	進行した歯周炎の減少	(参考値)40歳 32.0%	H9~10年富士宮市モデル 事業報告	22%以下	調査中		
		(参考値)50歳 46.9%		33%以下	調査中		

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
6 歯 の 健 康	6.8 歯間部清掃用器具の使用の増加	40歳(35~44歳) 19.3%	H5年保健福祉動向調査	50%以上	調査中		
		50歳(45~54歳) 17.8%		50%以上	調査中		
	6.9 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及 4.1 たばこ参照						
	6.10 禁煙支援プログラムの普及 4.4 たばこ参照						
	歯の喪失防止						
	6.11	80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加	80歳(75~84歳)20歯以上 11.5%	H5年歯科疾患実態調査	20%以上	調査中	
60歳(55~64歳)24歯以上 44.1%			50%以上		調査中		
6.12	定期的な歯石除去や歯面清掃を受ける人の増加	過去1年間に受けた人の割合(参考値)60歳(55~64歳) 15.9%	H4年寝屋川市調査	30%以上	調査中		
6.13	定期的な歯科検診の受診者の増加	過去1年間に受けた人の割合60歳(55~64歳) 16.4%	H5年保健福祉動向調査	30%以上	調査中		
7 糖 尿 病	7.1 成人の肥満者の減少	1.1 栄養・食生活参照					
	7.2 日常生活における歩数の増加	2.2 身体活動・運動参照					
	7.3 質・量ともにバランスのとれた食事	1.8 栄養・食生活参照					
	7.4 糖尿病検診の受診の促進	(参考値)健康診断受診者 4,573万人	H9年健康・福祉関連サービス需要実態調査	6,860万人以上	5,875万人*	H13年国民生活基礎調査	
	7.5 糖尿病検診受診後の事後指導の推進	糖尿病検診における異常所見者の事後指導受診率		H9年糖尿病実態調査			H14年度糖尿病実態調査
		男性	66.7%		100%	74.2%	
		女性	74.6%		100%	75.0%	
	7.6 糖尿病有病者の減少(推計)	糖尿病有病者数 690万人		1,000万人	740万人		
	7.7 糖尿病有病者の治療の継続	糖尿病有病者の治療継続率 45%		100%	50.6%		
7.8 糖尿病合併症の減少							
7.8a 糖尿病性腎症	糖尿病性腎症によって新規に透析導入となった患者数 10,729人	1998年「わが国の慢性透析療法の現況」(日本透析医学会)	—	13,632人	2003年「わが国の慢性透析療法の現況」		
7.8b 失明	糖尿病性網膜症による視覚障害約3,000人(1年間)	1988年「視覚障害の疾病調査研究」	—	調査中			

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
8	8.1 食塩摂取量の減少	1. 3 栄養・食生活参照					
	8.2 カリウム摂取量の増加	成人 2. 5g/日	H9年国民栄養調査	3. 5g以上	2. 4g/日**	H15年 国民健康・栄養調査	
	8.3 成人の肥満者の減少	1. 1 栄養・食生活参照					
	8.4 運動習慣者の増加	2. 3 身体活動・運動参照					
	8.5 高血圧の改善(推計)	(参考値)平均最大血圧 男性 132. 7mmHg 女性 126. 2mmHg	H10年国民栄養調査	†	男性130. 5mmHg 女性124. 7mmHg	H15年 国民健康・栄養調査	
	8.6 たばこ対策の充実	4. たばこ参照					
	8.7 高脂血症の減少	高脂血症の人の割合		H9年国民栄養調査	5. 2%以下	11. 5%	H15年 国民健康・栄養調査
		男性	10. 5%				
		女性	17. 4%				
	8.8 糖尿病有病者の減少	7. 6 糖尿病参照					
8.9 飲酒対策の充実	5. アルコール参照						
8.10 健康診断を受ける人の増加	検診受診者 4, 573万人	H9年健康・福祉関連サービス需要実態調査	6, 860万人以上	5, 875万人*	H13年 国民生活基礎調査		
循環器病	生活習慣の改善等による循環器病の減少(推計)						
	8.11 脳卒中死亡率(人口10万対)	全体	110. 0	H10年 人口動態統計	†	104. 7	H15年 人口動態統計
		男性	106. 9		†	102. 7	
		女性	113. 1		†	106. 6	
	脳卒中死亡数	全体	13万7, 819人		†	13万2, 067人	
		男性	6万5, 529人		†	6万3, 274人	
		女性	7万2, 290人		†	6万8, 793人	
	虚血性心疾患死亡率(人口10万対)	全体	57. 2		†	58. 2	
		男性	62. 9		†	65. 0	
		女性	51. 8		†	51. 6	
	虚血性心疾患死亡数	全体	7万1, 678人		†	7万3, 353人	
		男性	3万8, 566人		†	4万0, 080人	
		女性	3万3, 112人		†	3万3, 273人	

分野	目標	策定時のベースライン値(または参考値)	ベースライン調査等	目標値	暫定直近実績値等	調査年	
9 がん	9.1 たばこ対策の充実	4. たばこ参照					
	9.2 食塩摂取量の減少	1. 3 栄養・食生活参照					
	9.3 野菜の摂取量の増加	1. 4 栄養・食生活参照					
	9.4 1日の食事において、果物類を摂取している者の増加	摂取している人の割合 成人 29.3%	H9年国民栄養調査	60%以上	調査中		
	9.5 脂肪エネルギー比率の減少	1. 2 栄養・食生活参照					
	9.6 飲酒対策の充実	5. アルコール参照					
	がん検診の受診者の増加						
	9.7	胃がん	(参考値)1,401万人	参考値:H9年健康・福祉関連 サービス需要実態調査	2,100万人以上	1,973万人*	H13年 国民生活基礎調査
		子宮がん	(参考値)1,241万人		1,860万人以上	1,024万人*	
		乳がん	(参考値)1,064万人		1,600万人以上	766万人*	
		肺がん	(参考値)1,023万人		1,540万人以上	1,231万人*	
大腸がん		(参考値)1,231万人	1,850万人以上		1,425万人*		

注)

暫定直近実績値等は平成17年5月31日現在の数値である。

* の暫定直近実績値等は、策定時のベースライン値を把握した調査と暫定直近実績値等を把握した調査とが異なっている数値。

** の暫定直近実績値等は、食品成分表の改訂にともなった重量変化率の換算が必要な数値。

† は、目標値としての設定はなされておらず、他の目標項目の達成度に応じた推計値が記載されている項目。